



心理臨床センター

心理臨床センターでは、さまざまな心の悩みをかかえておられる方や、そのご家族等への心理療法・相談助言あるいはコンサルテーションなどの支援を行っています。また、大学院(心身科学研究科心理学専攻)の教育・学内実習機関でもあります。

D

DEPARTMENT



O

OF



P

PSYCHOLOGY



愛知学院大学 | 文学部・心身科学部 |

同窓会報

第 **40** 号

発行日
2019年12月20日

<http://bundo.agu.ac.jp/>

ご挨拶



文学部・心身科学部同窓会会長
山田 孝

同窓会報40号をむかえて

同窓会報が、昭和57(1982)年12月25日の創刊号から、今回の発行で40号をむかえます。創刊号以来、同窓会員の皆さんに同窓会の活動や大学の様子、恩師の先生のご活躍などをお知らせしてきました。定期的に、同窓会総会・懇親会に参加された方々の声を紹介してきました。特集として周年行事の取り組みも報告してきました。また、女性会員の増加に伴って「女性会員に聞く」と言ったような特集記事にも取り組んできました。この40年近くの間、数え切れない(実際に創刊号から、会報に紹介されている会員・在学生の人数を数えてきましたが、あまりの多さに正確な数を出すのをあきらめました)ほどの卒業生=同窓生の方の活動を、そして在校生=学部生の声を紹介してきました。同窓会報がこれまで続けてこられたのも同窓生の方々のご活躍があったからだと思います。引き続き同窓会員の皆様のご活躍や大学の様子等を会員の皆様に伝えていく所存です。同窓会報40号に際し、今まで以上に同窓会にご支援とご助言をお願いしたいと思います。



心身科学部 新学部長
中島 健一 教授

本年4月より、心身科学部長に就任いたしました中島健一です。

来年4月には法学部が名城公園キャンパスに移転し、日進キャンパスは文学部・心身科学部・総合政策学部・教養部のみとなります。古い6、7号館が取り壊されて新しい高層棟が建設される予定と聞いておりますが、ハードだけではなくソフト面でも日進キャンパスの再構築が必要と思われれます。名城公園キャンパスは交通の便も良く近代的建物ではありますが、春には桜が咲き誇る広々とした日進キャンパスでの伸び伸びとした学生生活もまた本学の魅力の一つではないかと感じております。

同窓会は、現役学生にとっても卒業生にとっても大きな力・支えとなっていていただいております。紙面をお借りして、心より感謝申し上げます。私自身も少しでもよい教育環境・学生生活環境を作っていくことに微力を尽くしたいと思っておりますので、これからも変わらぬご支援を頂戴いたしたくお願い申し上げます。

新任教員の紹介



心身科学部 健康科学科

杉浦 春雄 教授

〈最終学歴〉
日本体育大学大学院体育学研究科
博士(医学)



文学部 歴史学科

長井 謙治 准教授

〈最終学歴〉
東京大学大学院新領域創成科学研究科
博士(環境学)

心理臨床センターでの学び

大学院心身科学研究科の公認心理師・臨床心理士養成コースで学ぶ大学院生は、学内にある心理臨床センターで不登校、神経症、発達障害などを主訴とするクライアントを対象に、指導教員のスーパービジョンの元で心理支援の実力を養うことになります。そこで今回は大学院生の渡辺剛正君に心理臨床センターでの学びについて聞いてみました。



Q1 なぜ公認心理師・臨床心理士という道を選ばれたのか

初めて心理学という言葉を知ったのは中学校の3年生の時でした。当時放送されていたテレビドラマに精神科医が出てきており、患者さんの困りごとを親身になって聴いている姿を見て、「こんなに格好良い職業があるのか」という印象を受けました。どんな職業なのかもっと知りたいと思い自分で調べると、テレビドラマの中の架空の役ということがわかりました。しかし、カウンセラーという職業が一番近いということもわかり、そこから臨床心理士になりたいと思いました。

Q2 センターでどのような勉強・実践をしているのか

心理臨床センターでは、実際に相談に来るクライアントを対象に面接を実践しています。相談内容はさまざま、人間関係や仕事の悩み、子どもに関するなどがあります。その中で、心理療法の基本的な姿勢やクライアントの相談内容に合わせた具体的な技法などを学び、実践しています。この活動を通して、自分を見つめ直す機会になり、さらに面接の中で必要な技法についても深く学ぶ必要性を感じて、学会に行くなど学外での学びにも繋がっています。

Q3 将来どのような仕事につきたいのか

公認心理師・臨床心理士になりたいと思ったきっかけが、テレビドラマに出ていた精神科医の影響だったため、今でも医療領域での仕事につきたいと考えています。しかし、早くから領域を固定してしまうことは自分にとって幅が狭くなってしまおうと考えたため、病院でのデイケアや中学校の心の相談員、アウトリーチなど様々な領域の現場に携わることで、自分に合っているものは何なのか、必要とされている知識やスキルは何なのかを実践を通して模索している最中です。

大学院生
渡辺剛正君



活躍する卒業生

森本 美保子さん

●文学部心理学科(現 心身科学部心理学科)卒業

私が文学部心理学科に入学した1999年頃は心理バブルと言われ、臨床心理士を目指す人がたくさんいて、私は社会人でしたが、センター試験で入学することができました。



入学当時から大学院に進んで、臨床心理士になることを目標にしていたので、講義には真面目に出席していました。基礎実験のクラスでは自分が被験者になって視覚や無意識が心のように影響するのかなどを学びました。臨床のクラスでは、心の奥深さ、不思議さに触れることができました。

大学を卒業した後、大学院の臨床心理士養成コースを修了し受験して臨床心理士の資格を得ることができました。

現在、私は市役所の家庭相談員をしています。お子さんのことや夫婦関係などの相談を受けて、どうしたらより良い時間が過ごせるようになるのかを、相談者と一緒に考えています。

家庭相談員になった当時は「言葉がゆっくりだが大丈夫だろうか」「子どもがいうことをきかない」「学校を休むようになった」などの一般的な相談がほとんどでした。

しかし、児童福祉法の改正で、保護者からの虐待を受けるなど、保護者に監護させることが不相当であると認められる児童を関係機関で支援することを目標に、要保護児童対策地域協議会が市町村に設置されることになり、相談内容が変わっていききました。

今でも一般的な相談はありますが、相談件数が倍増していることもあり、相談の内訳としては、児童虐待に関する相談や連携が半分くらいになっています。

この10年くらいで相談者と一緒はどうしたらいいかを考える、から、保護者に助言や指導をすることが多くなってきており、隔世の感があります。児童虐待で命を落とすケースが報道されるたび、世間の関心も高くなっています。その対策のための法改正で、全ての要保護児童対策地域協議会に、調整担当者1名を配置することが決まりました。今や、家庭相談員としての経験があっても、研修を受けて調整員としても機能することが求められています。

さて、2018年に初めて実施された公認心理士試験に合格し、私も公認心理士となりましたが、この資格も調整担当者の任用資格となる見込みです。

心理の仕事は楽しいことばかりでなく、これでよかったのだろうか、どうすればいいのかと悩むことの方が多いのですが、あの子がこんなに大きくなりました、元気でやっています、と顔を見せてくれる方もいて、そんな時は嬉しく、やり甲斐を感じます。相談してよかったと思ってもらえるように、制度を理解し、真摯に相談者に向き合っていきたいと思っています。

総会・懇親会の報告

〈日時〉2019年6月16日◎ 〈会場〉名古屋東急ホテル

第46回総会・懇親会は、名古屋東急ホテルを会場に、盛大に開催されました。

当日は10時30分から定期総会を開催し、昨年度の事業及び会計報告、今年度の事業計画及び予算を決定しました。総会では、同窓会奨学金への応募者が少ないのではないかと、創立50周年の準備についてなど活発な質疑応答が行われました。(詳しくは次ページ)

12時からは懇親会が行われ、すでに退職された恩師の先生方、両学部長をはじめ現役の先生方、また地方同窓会役員など50名以上の来賓、文学部178名、心身科学部130名の会員、会員のお子様など総勢400人以上が参加しました。名古屋東急ホテルのヴェルサイユの間には、本会らしく女性の参加者が多いことから、今年も大変華やかな場となりました。学科ごとに設けられたテーブルでは、豪華な料理を囲んでの卒業年度を超えた交流の輪が広がっていました。

恒例の抽選会では、郵便局の「四季美味しいもの定期便」など趣向を凝らした景品が提供され会場を沸かせていました。また、今回は会員同士の交流を深めてもらおうと同級会開催の呼びかけなども行われました。最後は、理事が舞台上がり、学院歌を参加者と共に合唱し、閉会しました。

お楽しみ抽選会

- TDLペアチケット 1本
- 郵便局 四季の美味しいもの便 3本
- 東急ホテルから 3本
- 水明館 1泊朝食付きペア 1本
- 野球チケットペア 1本
- ポリジョイサーカスペア 1本
- ポリジョイサーカスグループバック 1本
- AGUグッズ詰め合わせセット 4本
- 防災グッズ 3本
- 各種カード(図書カードほか) 35本

53本の景品をご用意いたしました。



今回も盛大に行われた定期総会・懇親会の様子をお伝えいたします。



創立50周年に向けて

過去の周年事業を振り返る

本会は来る2023年に、創立50周年を迎えます。わずか58名で発足した本会は、今や26,326名(2018年)の会員を誇る大組織へと発展しています。現在、創立50周年記念事業の準備を開始しています。そこで、会報では本号から3回にわたり、過去の周年事業(20、30、40周年)を振り返りたいと思います。

創立20周年記念事業

- 本事業では、当時国際日本文化研究センター所長を務めておられた梅原猛先生を迎えて、「森と湿地の文明」と題した講演会を名古屋市民会館大ホールに約700名の聴衆を集め開催しました。
- 当時、梅原氏は「梅原日本学」と呼ばれる独自の世界観を開拓し注目を浴びていました。独特の語り口から提供される文明と歴史
- についての講演は、聴衆を魅了しました。
- 話題の講師をお迎えした記念講演会でした。

定期総会の報告

第46回 定期総会に提案された各議案は、すべて承認されました。
ご出席いただいた皆様、ありがとうございました。

平成31年度 事業計画

- (1) 理事会の開催 ※原則として年度2回開催の予定
 - 第1回理事会:令和元年5月18日(土) 15:45~17:15
 - 第2回理事会:日時未定
- (2) 常任理事会・各部会議の開催

〈常任理事会〉 ※原則として月1回開催の予定

 - 第1回常任理事会:平成31年4月20日(土) 19:00~21:00
 - 第2回常任理事会:令和元年5月18日(土) 14:00~15:30

〈各部会議〉 ※必要に応じて随時開催の予定
- (3) 第46回文学部・心身科学部同窓会定期総会・懇親会
 - 総会:令和元年6月16日(日) 10:30~
 - 懇親会:令和元年6月16日(日) 12:00~
- (4) 同窓会会報第40号の発行
- (5) 新会員向けに同窓会ハンドブックの発行
 - 令和元年度卒業生(文学部・心身科学部新(正)会員)への配布
- (6) 準会員(学生)への助成および支援
 - 奨学生、特別奨学生への助成
 - 支援クラブ、卒業謝恩会等への助成
 - 準会員と教員との親睦会への助成
- (7) 同級会等開催への助成
 - 通信費の負担および事務代行
- (8) 愛知学院大学同窓会連絡協議会への協力
- (9) 地方同窓会への助成
- (10) 愛知学院大学文学部および心身科学部への協力
- (11) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

平成30年度 会計決算報告(単位:円)

自:平成30年4月1日 至:平成31年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	収入額	科目	支出額
前年度繰越金	274,297,185	連絡協議会費	300,000
入会金・会費	27,785,000	渉外費	0
受取利息	1,863,990	総会費	7,120,335
雑収入	320,698	会議費	1,088,092
		助成金	3,971,771
		奨学金	3,480,000
		印刷費	1,441,013
		通信費	1,632,450
		備品費	0
		人件費	3,197,645
		消耗品費	178,449
		旅費	779,200
		慶弔費	37,960
		災害見舞金	50,000
		雑費	54,616
		管理費	20,000
		育成費	950,000
		修繕費	44,280
		予備費	0
		事業積立金	1,000,000
		小計	25,345,811
		次年度繰越金	278,921,062
合計	304,266,873	合計	304,266,873

平成31年度 会計予算(単位:円)

自:平成31年4月1日 至:令和2年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	278,921,062	連絡協議会費	10,000
入会金・会費	28,000,000	渉外費	50,000
受取利息	1,800,000	総会費	9,520,000
雑収入	500,000	会議費	2,000,000
		助成金	6,480,000
		奨学金	7,000,000
		印刷費	1,400,000
		通信費	1,680,000
		備品費	600,000
		人件費	4,830,000
		消耗品費	500,000
		旅費	1,030,000
		慶弔費	200,000
		災害見舞金	800,000
		雑費	200,000
		管理費	200,000
		育成費	1,100,000
		修繕費	200,000
		予備費	500,000
		事業積立金	1,000,000
		小計	39,300,000
		次年度繰越金	269,921,062
合計	309,221,062	合計	309,221,062

財産目録(単位:円)

平成31年3月31日現在

科目	摘要	金額
普通預金	三菱UFJ銀行 今池支店 No.1515154	1,011,338
〃	三菱UFJ銀行 今池支店 No.0298840(注1)	34,203,828
〃	三井住友信託銀行 名古屋栄支店 No.1220067	161,352
〃	三井住友銀行 藤が丘支店 No.244981	100,395
〃	みずほ銀行 名古屋中央支店 No.1523128	101,269
〃	ゆうちょ銀行 一宮七夕郵便局 No.11981881	6,620
定期預金	三井住友信託銀行 名古屋栄支店 No.01	10,000,000
〃	三井住友銀行 藤が丘支店 No.46096	10,000,000
〃	みずほ銀行 名古屋中央支店 No.6101582	10,000,000
〃	ゆうちょ銀行 一宮七夕郵便局 No.11981881	10,000,000
国債		203,273,663
小計		278,858,465
事務室小口現金		62,597
合計		278,921,062

(注1)決済型預金 ハイオフ対象外

周年事業積立金		備品明細	
科目	摘要	数量	摘要
〃	三菱東京UFJ銀行 今池支店 定期預金 No.3987155	1	事務室机
〃	〃	1	応接セット
〃	〃	2	カウンター
〃	〃	2	書架
〃	〃	1	コンピューター機
〃	〃	3	コンピューター&ディスプレイ
〃	〃	1	カラー複合機

次回同窓会・懇親会のお知らせ

第47回 文学部・心身科学部 同窓会 総会・懇親会

2020年6月7日(日)

名古屋東急ホテルにて開催予定

4月下旬頃、ご案内を発送いたします。
皆様、お誘いあわせの上、是非ご参加ください。
詳細が決まり次第、ホームページでもご案内いたします。

※総会で撮影した写真を会報に掲載する場合があります。ご了承ください。

毎年恒例の
抽選会もあります!!
何が当たるかは
お楽しみ♡
是非ご参加ください。

事務局からのお願い

ご友人で同窓会からの郵送物が届かないという方が
いらっしゃいましたら、是非、ご住所の登録をお勧めくだ
さい。同窓会事務局ではご本人からのお申し出のみ、
ご住所の変更を行っております。事務局へメール、
FAXにてお知らせください。同窓会ホームページもご
覧ください。

[令和元年度]

奨学生と支援クラブの紹介

奨学生

- 文学部 歴史学科2年
池田 彩生
- 心身科学部 心理学科4年
加知 芽玖美
- 大学院 文学研究科
宗教学仏教学専攻2年
LIN YUE YAN
(リンユエヤン)
- 大学院 文学研究科
歴史学専攻2年
鈴木 乙都
- 大学院 心身科学研究科
心理学専攻2年
加登 裕梨



支援クラブ

Health & Food

この度は Health & Food を支援クラブに選んで頂き誠にありがとうございます！

これを機に、大学連携事業、大学祭、ボランティアなどの試作費、資料、交通費などに充て、より良い活動ができるよう日々頑張りますので楽しみにして頂けると嬉しいです！



バレーボール部(男子)

この度は過分なご芳志をいただき、厚く御礼申し上げます。いただいたお志は、試合時の栄養補給や練習時の補助食品(プロテインなど)に使用させていただきたいと思っております。今回の成績に満足せず、更なる成績を収めることができるよう、日々精進に努めますので、今後ともご支援のほど宜しくお願いいたします。



将棋部

昨年の団体戦A級昇級という実績を評価し、将棋部を支援クラブに選出して頂きありがとうございました。今年度は西日本大会女流戦に出場を果たし、全国大会出場もありますので、引き続き将棋部への御支援・御声援のほどよろしくをお願いいたします。



〈特別奨学生の給付〉

平成28年度より経済的理由により修学が困難な者を対象とした同窓会独自の特別奨学金の制度が設けられました。今年度は、選考の結果、8名の学生が採用されました。これらの学生には、同窓会から授業料の半期分相当額である35万円が給付されました。

〈準会員への助成について〉

学術支援(24万/人)、クラブ支援(20万/団体)、特別学術支援(35万/人)、卒業謝恩会への助成等、準会員(在学学生)を対象にさまざまな助成を行っています。

以上の募集に関するポスターは同窓会事務室前(3号館1階)に掲示されます。

会員
に対する

新しい助成制度のご案内

本会では、正会員、特別会員、準会員甲・乙を対象とした新しい助成制度を設けました。これは社会的活動やスポーツ等において顕著な功績をあげられた会員個人を、客観的な資料(新聞等の報道、公式記録等)の提出と所属組織の長や大学教職員であれば学長の推薦を得られることを条件に、その活動を支援するために助成するものです。

助成内容は助成申請に応じて判断しますが、1件あたりの助成は20万円を上限に年度内5件以内を目途に行います。

詳しくは文学部・心身科学部同窓会事務室までお問い合わせください。



同級会だより

昭和47年度生 同年会 〈2018年11月24日〉

卒業から43年、4回目の開催です。補助金制度のおかげで、毎年開催することができるようになり、同窓会に感謝しています。ありがとうございました。

今回は、遠く福岡、埼玉、滋賀からの参加者、中には46年ぶりの嬉しい再会もありました。懐かしい話に盛り上がり、気分は20代。皆、時間を忘れておしゃべりに夢中になり、充実した楽しい時間を過ごしました。次回もお互いに健康で再会できることを約束し、名残惜しく会を閉じました。



歴史学科 昭和59年卒同窓会 〈2019年4月30日〉

卒業してから35年の月日が経ち、久しぶりに再会して思い出話に花を咲かせました。その上で、各自近況報告をして頂きました。なお、今回はもう少し参加人数を増やして開催したいと考えております。



国際文化学科 山中弘教授の退官のお祝い 〈2019年6月22日〉

国際文化学科で15年お世話になった山中弘教授が退官するにあたり、山中先生の長年にわたる教員生活への感謝と、同じゼミ生が集まる機会と思いいつ、このような会を開催いたしました。



卒業してから20年ほど経っており、どれだけの人数が集まるのか不安でしたが、同窓会事務局の支援も得て、国内だけでなく、シンガポール、台湾、ハワイなど海外からも同窓生が集まり、計36名の参加となりました。

当日は、山中先生だけでなく、同窓生同士でも卒業以来久しぶりに会う人も多く、学生時代に戻ったような気分で、賑やかな会を開催することが出来ました。

最後は山中先生への記念品の贈呈や、参加者への特別記念品の配布もあり、あっという間の楽しい時間を過ごしました。

これからも、この繋がりを大切に、いつになっても学生気分に戻れるような会を続けていきたいと思います。

宗教文化学科 小林奈央子ゼミ同窓会 〈2019年7月21日〉

12R012市野敬幸くんよりゼミ生に呼びかけがあり、それに応える形で12R・13R小林ゼミの同窓会が開催されることとなりました。



卒業してから初めてのゼミ全体の集まりであり、個人的なやりとりを除けばほぼ全員が卒業後初めての再会となりました。各人の仕事の都合などもあり、19:30〜と比較的遅いスタートでしたが、遠くは静岡市、津市などから日帰りでも来名した卒業生もおり、教員冥利に尽きる大変嬉しい会になりました。終始笑いが絶えず、ゼミ旅行の思い出や卒業執筆の苦労話など様々なエピソードが回想されておしゃべりが尽きませんでした。このたび同窓会から助成を受ける予定であることを伝えると皆一同に「有り難い制度です」と感謝しておりました。

国際文化学科 平成17年卒同窓会 〈2019年8月10日〉

2005年3月の卒業以来、14年半ぶりの顔合わせとなった今回は、長野から大阪まで18名のメンバーが参加しました。

ビジネスで成功している人もいれば、教育ママとして子育てに奔走する人、なんと双子を2組も産んだパパも参加し、有意義な時間となりました。

これを機に定期的集まろうということになり、次回の日程も決まりました。諸事情で参加できなかった人も多くいたため、この輪をより広げていこうと参加メンバーと意気込んでいます。



健康科学科 水藤弘史ゼミ同窓会 〈2019年8月29日〉

令和元年8月29日(木) 19時からGOCHISO-DINING 雅じゃば名古屋名駅店にて、健康科学科水藤ゼミのゼミ同窓会を開催しました。参加者は2015年度から2017年度卒業の3学年にわたる卒業生15人と教員1人の合計16人でした。学生生活の思い出話や現在の状況など語り合うことができ、大いに盛り上がりました。また、定期的なこのような会を開催したいです。



宗教文化学科 林淳ゼミ懇親会 〈2019年9月7日〉

2015年卒業の林ゼミは、1年か1年半に1回は集まって歓談を楽しんでいます。今回は2013年卒業の山形寿君も参加。秋に卒業以来初めての同級会を山形君幹事でやる予定なので、他の学年の同級会の様子を見てもらいました。「最近あった良い話を話す」という題で全員自分の事を話しました。「明日入籍します」という人もいて盛り上がりました。来年は連休明けに再会することを誓って解散。いつも遊びのこと、職場のことを話あうストレス発散の楽しい会です。



健康栄養学科 ホームカミングデー 〈2019年11月3日〉

健康栄養学科ホームカミングデーは今年で6回目となり、毎年、大学祭初日に愛知学院大学学院会館を貸し切り開催しています。今年は先生方、卒業生、在学生合わせて45名となり、3連休の中日でしたが多くの方にご参加いただきました。卒業生の中には卒業式以来数年ぶりに大学へ足を運んだ者もあり、先生方や同級生との思い出話が尽きないようでした。在学生は、卒業生から就職活動や国家試験勉強についての話を熱心に聞いている姿が印象的でした。参加した卒業生からは、「先生方と久しぶりにお会いし元気が出た」、「また来年も参加したい」といった声を聞くことができました。在学生からも、「先輩方のお話を聞き、国家試験に向けての勉強意欲が高まった」といった声を聞くことができました。



健康栄養学科ホームカミングデーは先生方、学年の違う卒業生、在学生が一同に集まることで、横の繋がりがだけでなく縦の繋がりが生まれる大変貴重な場です。今後も継続的に開催し、卒業生、在学生全員で一丸となって健康栄養学科を盛り上げていきたいです。

同窓会事務局より

あなたも同級会を開きませんか？

同窓会では、会員による同級会開催のお手伝いを行っています。卒業後〇〇年ぶりに開催した同級会で学生時代に振り返りに楽しかったとお声をいただいております。

同級会等(同学科卒、同卒年、同ゼミ卒など)の開催をご希望の方は、同窓会事務局までお気軽にお電話、メールにてご連絡ください。詳細が決まりましたら、開催案内はかきの作成、発送をいたします。同級会につきましては、参加者が10人以上の場合は一人あたり2,500円を、10万円(40人参加)を上限として助成金をお支払いしています。

ホームページでもご案内していますので是非ご覧ください。



平成31年退職者

文学部 歴史学科 白石 浩之 先生



2000年4月より、文学部教授として17年間、客員教授として2年間の計19年間愛知学院大学文学部に勤務してきました。思えば、2004年4月から2年間教務主任時と2012年4月から2年間文学部長時には大学基準協会の審査、2014年4月からの図書館情報センター館長時は私立大学西地区図書館協会事務局の部会長として微力ながら尽力してきました。

2019年3月に退職しましたが、4月から1年間4年生の卒業論文の指導を兼ねた専門演習と文化人類学の講師をしており、まだ少しだけ大学に関わっています。

さて皆さんは卒業して社会人になると日常生活に追われ、卒業生同士が集まる機会が少なくなります。そこで毎年一回開催される愛知学院大学文学部・心身科学部同窓会に積極的に参加してみたいかですか。確かな情報交換の場になり、青春を謳歌した文学部・心身科学部の大学時代の心置きない学友や先生方との久々の再会によって、ほっとする心の癒しと充足感が得られることでしょう。

地方同窓会 参加報告

関西同窓会 令和元年度定期懇親会 参加報告

令和元年9月1日(日)12時から、昨年同様グランド白楽にて、令和初の関西同窓会懇親会が開催されました。文学部・心身科学部の参加者は4名でしたが、大学卒業後初めて参加という方もいました。いつものように幅広い年代が集まる関西同窓会、恒例のビンゴ大会も行われ、最後には校歌斉唱ののち散会となりました。



広島同窓会 第26回定期懇親会 参加報告

今年度は来賓として、本部からは商経会1名、法学部1名、文学部・心身科学部2名、歯学部1名、地方同窓会からは、関西1名、山陰1名、四国1名、歯学部広島県支部1名の役員のほかに、大学からは学長補佐の二宮克美総合政策学部教授が参加されました。広島同窓会代表幹事船本和朗氏の挨拶で始まり、来賓紹介、二宮克美教授の挨拶、余語充伸商経会会長の挨拶が行われました。



参加者は、19名と商学部・経営学部、法学部出身者のみであり、文学部・心身科学部出身の参加者はいませんでした。全体で役員も含めて29名の小規模な懇親会ではありましたが、和やかな雰囲気で行われ、最後は参加者全員で校歌を熱唱しました。

山陰同窓会 令和元年度定期懇親会 参加報告

令和元年10月5日(土)ANAクラウンプラザホテル米子にて、山陰同窓会第52回定期懇親会が開催されました。定期懇親会には、来賓13名、会員19名、総勢32名の参加があ



地方同窓会に参加してみませんか?

地方同窓会は在住などの関係で愛知県での同窓会に参加することが難しい方から、同窓会が年に一度では寂しいという方まで、幅広く参加して下さる方を歓迎しております。

学部問わず同窓生と関わることができ、小中高の先輩、後輩、同級生が実は同窓生だったことや、地方同窓生ならではの発見があるかもしれません。また抽選会での当選率の高さも魅力です。

遠方においてなかなか会うことのできない同級生だけでなく、同じ土地で生活している同じ大学を卒業した者同士の絆を感じてみてはいかがでしょうか。



事務局よりホームページのお知らせ

同窓会活動の最新情報や大学の行事(卒業式、入学式、懇親会など)の様子がご覧いただけます。同級会の申請書のダウンロード、住所変更等の連絡もこちらからできますので、是非ご活用ください。また、同窓会へのご意見、ご要望等もお待ちしております。

●文学部・心身科学部同窓会ホームページ

<http://bundo.agu.ac.jp>



入試についてはこちら

●愛知学院大学 入試情報サイト

<http://navi.agu.ac.jp/examination/>